

研究テーマ モグラなど野生動物とその寄生虫の生態や保全の研究

所属 理学部

教授 横畑泰志

<https://researchmap.jp/read0009555>

研究分野	動物生態学、保全生物学、哺乳類学、寄生蠕虫学
キーワード	モグラ、寄生蠕虫、生態学、生物多様性、保全

研究室URL : <https://www2.hp-ez.com/hp/yokolabo/>

研究の背景および目的

生物多様性の保全や野生生物との共存が大きな社会的課題となっていることを背景に、日本産モグラ類を中心とする各種野生動物およびそれらに寄生する蠕虫類などの生態や保全に関する研究を行っている。



■ 主な研究内容

1. 日本産モグラ類の生態および保全に関する研究

1) 形態・行動・生態に関する基礎的研究

- ・日本産モグラ類のミミズ捕食行動と頭骨形態の関連性に関する研究
- ・日本産モグラ類の飼育下におけるトンネル選択、活動周期などの研究

2) 日本産モグラ類の保全に関する応用的研究

- ・固有種センカクモグラなどの保全のための尖閣諸島魚釣島の野生化ヤギ問題の現状把握の試み(右図参照)
- ・福島県東部の放射能汚染地域のアズマモグラの汚染状況などの研究
- ・日本産モグラ類における絶滅危惧種・個体群の生息状況の研究



魚釣島の高解像度衛星分析画像
(Yokohata et al., 2003)

2. 各種野生動物(哺乳類、鳥類など)の寄生蠕虫群集の研究

3. 石川県・富山県浅海域の生物相のシステム化保全計画に関する研究

期待される効果・応用分野

地球上の各地域の固有性、歴史性に焦点を当てた生物多様性の保全

■ 共同研究・特許など

- ・(共同研究)衛星画像と環境DNAによる尖閣諸島魚釣島の野生化ヤギの影響の評価の試み(酪農学園大学、琉球大学)
- ・(共同研究)福島県の放射能汚染地におけるアズマモグラの汚染状況、特に⁹⁰Sr汚染について(福島大学)
- ・(共同研究)大分県高島における外来齧歯類2種(クリハラリス・クマネズミ)の寄生虫および食性に関する研究(森林総合研究所九州支所)

富山大学研究者プロフィールPure URL : <https://u-toyama.elsevierpure.com/ja/persons/>